



取扱説明書

Smart Reco[®]
New Standard of smart car life

WHSR-S100

もしも、事故に巻き込まれたら

まず落ち着いて、警察官を呼び、相手の情報を確認します。
けが人がいたら救急車も呼びます。



周りを見て、目撃者がいるか確認。
携帯のカメラなどで事故直後の現場を撮影します。



映像を再生できる機種であれば、
到着した警察官と一緒に事故時の映像を確認します。



映像確認後、スマートレコの電源
をオフにして、事故映像が上書き
で消えないよう、SD カードを本
体から取り外します。
※パソコンに映像データをコピー
したら、本体に戻します。



保険会社への連絡や、病院に診察へ行くのもお忘れなく。



目次

01. 製品使用前の注意事項	4
02. 禁止事項	5
03. 製品使用時の注意事項	7
04. 製品の特長	9
05. 構成品	12
06. 各部の名称及び機能	13
07. 本体電源のONとOFFを切り替える方法	15
08. microSDカード挿入 / 取り外し方法	16
09. 製品取付 - 取り付け時の注意事項	17
10. 取付手順	22
11. 操作ボタン動作及び音声案内動作説明	26
12. 本体LED動作説明	27
13. カメラLED動作説明	28
14. 製品機能の説明	29
15. 超低電力モードについて	33
16. スマートフォンアプリ設定方法	34
17. ファームウェアのアップデート	53
18. 専用ビューアーをインストールする	55
19. 専用ビューアーのメイン画面の説明	56
20. ボタンの説明	57
21. 全画面表示	60
22. デジタルズーム	61
23. 運行記録	62
24. ファイルを開く	64
25. microSDカードの保存データ	65
26. 映像保存方式	67
27. 製品仕様	74
28. よくあるご質問	76
29. 保証書	79

本製品は2カメラのドライブレコーダーであり、車両の事故や衝撃を感知した際の映像 / 室内音声を保存し、事故原因の分析を補助するデータを記録する製品です。

- SmartReco®は、株式会社ホワイトハウスの登録商標です。
- 本説明書の全ての内容は、著作権法により保護されます。
- 本説明書に記載されている製品名その他のブランド名は、該当する各社の標章、商標または登録商標です。
- 不適切な使用及び装着、改造による故障や事故に対して弊社は責任を負いません。
- 安全運転のために運転中の操作はおやめください。
- 本説明書に使用されるイメージ画像は、実際の製品とは異なる場合があります。
- 使用前に本説明書を読んで、製品を正しく安全にご使用ください。

■ 本製品は、車両安全運転補助製品です。事故発生時、全ての責任は使用者にありますので、製品の目的に合う使用をお願いします。

■ 本説明書は、製品機能向上のため、予告無しに変更する場合があります。

**警告**

この表示の欄は、『死亡または重症を負う恐れがある』内容です。

**注意**

この表示の欄は、『損傷または物的損害が発生する恐れがある』内容です。

**警告**

- ・運転中に操作をしないでください。
事故やけがの原因となります。
操作やmicroSDカードの抜き挿しは、必ず安全な場所に車両を停車させてから行ってください。
- ・分解、修理及び改造をしないでください。
修理やサービスは必ず近隣の正規ディーラー / 販売店へご依頼ください。
- ・水に濡れた場合、本製品を絶対に熱器具（電子レンジ、ドライヤー等）で乾燥させないでください。爆発や変形、故障の原因となります。
- ・濡れた手で触らないでください。
火災、感電、故障の原因となります。
- ・コードを挟んだり切ったりしないでください。
通信異常の原因になるだけでなく、断線やショートにより火災、感電、故障の原因となります。
- ・機器内部に異物を入れないでください。
故障や火災、感電等の原因となります。特に乳幼児には近づけないよう、ご注意ください。
- ・運転の視界の妨げになる場所に絶対に取り付けしないでください。
事故やけがの原因となります。
- ・エアバッグの妨げになる場所に絶対に取り付けしないでください。
エアバッグが正常に作動しなかったり、作動したエアバッグで本製品が飛ばされ、事故やけがの原因となります。
- ・本製品を故障や異常のまま使用しないでください。
万が一、故障や異常が発生した場合は、ただちに使用を中止し、近隣の正規ディーラー / 販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると、事故や火災、感電の原因となります。
- ・microSDカードは乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・本製品は外れたり、落下しないようにしっかり取り付けてください。
固定が弱いと、走行中に外れる、落下する等、事故やけがの原因となります。また、振動により性能が低下する可能性があります。
- ・本製品は洗浄しないでください。
化学物質（ベンジン・シンナー・アルコール類など）は使用しないでください。爆発や火災が発生する可能性があります。お手入れする場合は、電源コードを本体から抜き、電源OFF状態になったことを確認後、水を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いた後、乾拭きします。



注意

- ・駐車監視モードは長時間（約24時間以上）使用しないでください。長時間使用したい場合は、超低電力モードを使用して車両バッテリーを消耗しないように運用してください。車両を長時間使用しない場合は、駐車監視スイッチをOFFにしてください。また、電源遮断機能が働いてもエンジン始動が困難になる可能性があります。また、電源遮断機能作動後は、映像は記録されません。
- ・本製品を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
- ・炎天下や高温または極寒になる場所に長時間放置しないでください。
本体の温度が動作温度（-20～70℃）外になりますと、本体の機能が正常に作動しなくなります。また、サンシェードとフロントガラスの間に本体があると、本体が高温になり、正常に作動しなくなる場合があります。一部の車種にサンバイザーやサンシェードと前方カメラ、後方カメラが干渉する車種があります。その場合、サンバイザーやサンシェード等の使用を抑えるか、撮影に影響のない範囲で使用してください。
- ・ケーブル / コード類は運転や乗降の妨げにならないように配線してください。
- ・本製品はオフロード等の舗装されていない道路を走行する車両や競技車両には使用できません。
- ・本製品で記録した映像は個人の使用目的以外では、著作権法・個人情報保護法上などの規則のため、無断で使用する事はできません。また、使用方法によっては被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合があります。
- ・本製品は事故を防止する装置ではありません。また、状況によっては映像ファイルが記録されない場合があります。
- ・本製品を取り付けたガラスは常にきれいにしてください。
汚れている場合は、正常な走行映像を記録する事ができませんので、ご注意ください。
- ・車両のガラス面に光が反射して、映像の品質が著しく低下する可能性があります。
- ・着色ガラスやカーフィルムの濃度により、特に夜間など、画質が低下する可能性があります。製品取付後に撮影テストを行い、映像品質を必ずお確かめのうえご使用ください。
- ・LED式信号機は目に見えない高速で点滅しているため、正確に撮影されない場合があります。信号で判断できない場合は、前後の映像や周辺の車両状況から判断してください。
- ・本体の自己診断機能により、電源をONにしてから起動するまでに約20秒の時間を要します。
本体が起動するまでは映像が記録されませんので、本体が起動したことを確認してから、車を運転してください。

【保証と責任の範囲】

- ・本製品は安全運転のための補助装置です。本製品の故障による損害、データの損失による損害、その他本製品を使用することにより発生した損害に対して弊社は一切の責任を負いません。
- ・重要な映像を録画した場合、ファイル消失を防ぐために、microSDカードを本体から取り外し大切に保管してください。
- ・本製品は車の運行状況を録画 / 保存することを目的とした装置ですが、予期せぬ事由により、録画されない場合や、録画されたファイルが再生できない場合があります。
- ・本製品を分解、修理及び改造等をした場合の故障及び事故に対して弊社は一切の責任を負いません。
- ・不適切な使用方法、取り付けによる故障及び事故に対して弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品並びに取扱説明書は品質向上のため、予告なしに変更または修正される場合があります。
- ・経年変化や、使用状況によってはバックアップ機能が作動しない場合があります。
- ・本製品に対する全てのソフトウェアおよびハードウェアの著作権は弊社に帰属します。
本製品に関する著作権及び知的財産権を無断で使用、複製、加工、配布することは絶対におやめください。
- ・本製品は安全運転のための補助装置です。事故の検証に役立つことも目的の一つですが、完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- ・衝撃が発生した時の映像が記録されなかった場合や記録されたデータが破損していた場合の損害、本製品の故障や本製品の使用によって生じた損害について、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本説明書に記載されている事項に従わずに使用し、事故や故障が発生した場合、弊社は一切の責任を負いません。
- ・本製品をいたずら、及び他人の迷惑になる行為に使用しないでください。
また、本来の使用目的以外の用途では絶対に使用しないでください。弊社は一切の責任を負いません。
- ・PC本体の性能により一部専用ビューアーが正常に再生されない場合があります。
映像再生がスムーズに行えるスペックが必要です。
※ 詳しくはP55をご参照ください。
- ・専用ビューアーの地図の表示には、インターネットに接続できる環境が必要です。
※ 詳しくはP56をご参照ください。
- ・本製品をご使用前に、必ず取扱説明書の記載事項をご確認いただき安全にご使用ください。
また、本説明書はいつでも見られるところに必ず保管してください。
- ・専用ビューアーのインストールはインターネットに接続した環境で行ってください。
インターネットに接続されていない環境でインストールすると正常にインストールされない場合があります。（※ 詳しくはP55をご参照ください。）

【 microSDカード使用時の注意事項 】

- ・ microSDカードは必ず電源を切った状態で抜き差しをして下さい。電源が入っている時に microSD カードの抜き差しを行うと、microSD カードが破損するだけでなく、本製品が故障するおそれがあります。
 - ・ microSDカードへのデータ記入中（LED ランプ点灯中）は、絶対にmicroSDカードを抜かないでください。microSDカードが破損するだけでなく、本製品が故障するおそれがあります。microSD カードを抜く場合は、本体のボタンを長押し電源をOFFにしてエンジンを切り、必ず本体のすべてのLEDランプが消灯したことを確認してから行ってください。
 - ・ ファイル保存中に電源が切断された場合、バックアップ機能を利用して最後のファイルを保存している間、LEDが暫く点灯します。LED点灯中はmicroSDカードを本体から抜かないでください。
 - ・ 本体をご使用になる前に、microSDカードに映像が保存されるのを確認してからご使用を開始してください。また、定期的にmicroSDカードを点検してください。
 - ・ microSDカードには本製品で記録されるデータ以外は保存しないでください。
 - ・ 本製品が正常に作動しているか確認するために、1週間に一度は記録データの内容を確認してください。
 - ・ 保存ファイルは定期的にバックアップをしてください。保存容量を超過した場合、一番古いファイルから上書きされるため、定期的にバックアップし、必要なファイルが削除されないようにご注意ください。
 - ・ 必ず弊社の指定する純正microSDカードをご使用ください。弊社指定microSDカード以外を使用されますと正常に録画されない場合があります。
 - ・ microSDカードの定期的な動作確認を行ってください。2か月ごとを目安に定期的にPCまたはドライブレコーダー本体でのフォーマットを強くお勧めします。
 - ・ 使用開始から6か月を超えたら、純正microSDカードの買い替えをご検討ください。
 - ・ 安定した本体の動作を行うため、2か月ごとを目安にドライブレコーダー本体のファームウェアバージョンをご確認いただき、最新の状態に更新を行ってください。
-
- ・ microSDカードは消耗品です。microSDカードには一般的に寿命があるため、長期間使用すると新しいデータが録画できなくなります。このような場合には新しい microSDカードをご用意ください。いかなる場合もデータの破損・消滅に対して、弊社は一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
 - ・ microSDカードへ書き込み中に、カードを抜くと、最後のデータが記録されませんのでご注意ください。これらの事象に対して弊社は一切の責任を負いません。
事故映像等の重要なデータは、上書き防止のためmicroSDカードを本体から抜いて別の場所で保管してください。複数のmicroSDカードを所有されることをお勧めします。
※ 購入・詳細については、SmartReco公式ホームページをご覧ください。

■ 駐車監視モード

駐車中はモーションセンサー及び衝撃により、当て逃げ等必要な映像だけ鮮明に保存できるように駐車録画を行います。

※ 詳しくは、P15・P44・P69～71をご参照ください。

■ (サイド) 2カメラ録画機能

室内に装着する左側 / 右側のサイドカメラを通じて映像を録画するドライブレコーダーです。

■ 音声案内機能

音声案内でドライブレコーダーの動作状態を確認できます。

駐車監視モード中に当て逃げがあった場合は、エンジン始動時に音声案内が流れます。

※ 詳しくは、P26・P29～31をご参照ください。

■ FHD高画質映像記録

走行映像、駐車監視映像を鮮明に保存できるよう全てのカメラで最適な解像度と視野角で録画します。

※ 仕様に関してはP74をご参照ください。

■ STARVIS

夜間の映像をより綺麗で明るく録画(保存)できます。

※ 仕様に関してはP74をご参照ください。

■ ナイトビジョン (HDR)

夜間の映像をより綺麗で明るく録画(保存)できます。

※ 仕様に関してはP74をご参照ください。

■ フォーマットフリー機能

フォーマットフリー機能が搭載されており、microSDカードの定期的なフォーマットは不要です。

■ 常時録画機能

走行中は60秒を1ファイルとして録画します。

※ 詳しくは、P67をご参照ください。

■ イベント（衝撃）強制録画

走行中の衝撃を感知するか、本体スイッチを短く押すと、押す前の5秒、後の15秒（合計20秒）の映像をイベントフォルダに保存します。

※ 詳しくは、P67をご参照ください。

■ メモリ自動管理機能

microSDカードに継続的に走行映像を保存するため、各録画方式のフォルダごとに、古い映像ファイルから順次上書き保存します。

※ 詳しくは、P72～73をご参照ください。

■ 専用PCビューアー対応

ドライブレコーダーの映像を専用PCビューアーで再生すると、2カメラの映像を同時再生、各種情報の確認ができます。

※ 詳しくは、P55～64をご参照ください。

■ 電源遮断機能（バッテリー上がり防止機能）

車両のバッテリー上がりを防止するため、ドライブレコーダーの電源を遮断する装置が内蔵されています。設定された遮断電圧 / 遮断時間により駐車監視モード中、自動的にドライブレコーダーの電源がOFFになり、ドライブレコーダーによるバッテリー上がりを防止します。

※ 詳しくは、P47をご参照ください。

- ・ 駐車監視モードは車両バッテリーの電力を使用します。
- ・ バッテリー警告が出た場合、車両のバッテリーが弱っている可能性があります。正規ディーラー / 販売店にお問合せください。

■ 電波干渉対策済

一部地域、受信環境により、ラジオの受信感度が下がる場合があります。

■ LED信号対策済

■ 長時間記録モード（タイムラプス） ※ 駐車監視時のみ

1秒間に4枚の画像を撮影して動画に保存します。人や車の往来が多いところでは長時間記録モード（タイムラプス）を使用することにより、通常の駐車監視モードに比べ、より長時間記録できます。

※ 詳しくは、P44、P70をご参照ください。

■ ハイパーラプス ※ 常時録画時のみ

1秒間に4枚の画像を撮影して動画に保存します。ハイパーラプスを使用することにより、通常の走行録画に比べ、より長時間の記録ができます。

※ 詳しくは、P44、P68をご参照ください。

■ SDカード寿命通知（純正SDカード使用時限定）

使用中のSDカードの交換推奨時期を音声案内でお知らせします。

※ 詳しくはP32をご参照ください。

■ セキュリティLED

駐車中は青色LEDが点滅して、駐車監視をアピールします。

※ 詳しくはP14をご参照ください。

■ スマートフォンアプリ対応

スマートフォンアプリからドライブレコーダーに接続可能です。

※ 詳しくはP34～52をご参照ください。

■ Wi-Fi ステーションモード対応

スマートフォンアプリと家庭のWi-Fiネットワークに接続すると、駐車モード作動中に通知を送信します。

※ 詳しくはP43、P49、P51、P52をご参照ください。

製品購入後、本体及び付属品が全て揃っていることを確認してください。
万が一、本体及び付属品に破損または異常がある場合は、直ちに本製品を購入した販売店にご相談ください。

基本構成



本体
(Wi-Fiモジュール内蔵)



電源接続ケーブル



SmartReco専用
microSDカード



microSDカード
リーダー



左側カメラ#1
ウィンドウ用ブラケットウィンドウ用ブラケット
両面テープ



右側カメラ#2
ウィンドウ用ブラケットウィンドウ用ブラケット
両面テープ



本体固定両面テープ



取扱説明書



カメラ延長ケーブル
(4m)



カメラ延長ケーブル
(7m)



GPSモジュール

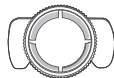
オプション(別売)



トリム用ブラケット (黒)
両面テープ



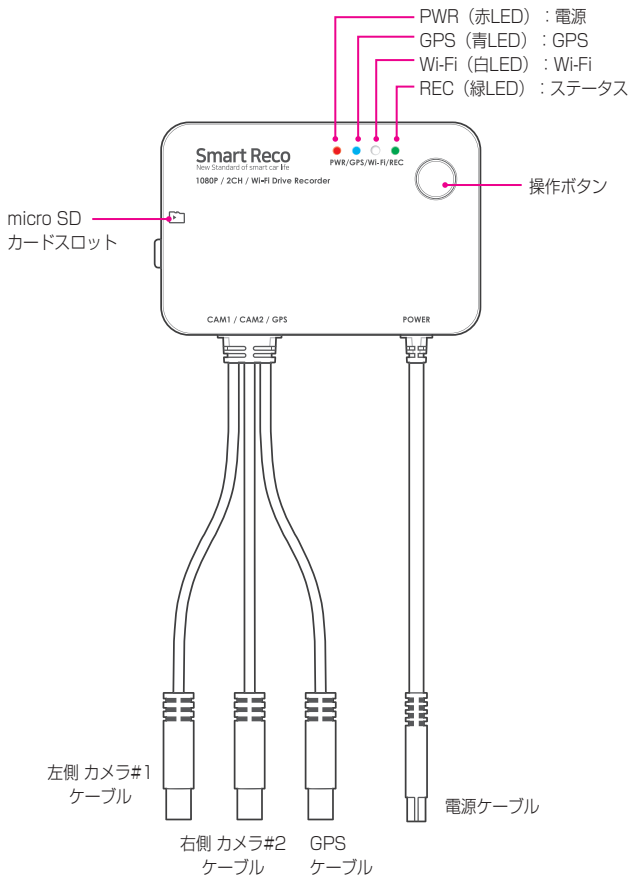
トリム用ブラケット (透明・小型)
両面テープ

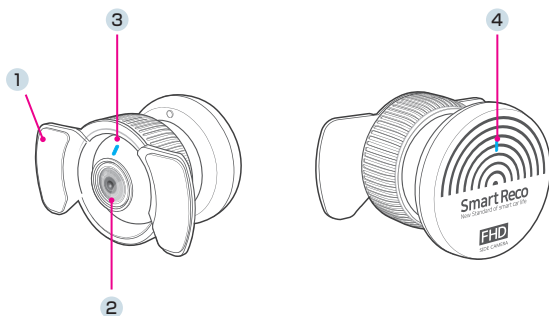


ウィンドウ用ブラケット
両面テープ

※ カメラ取付ブラケットは、セット内容により異なります。
上記付属品は予告なく変更される場合があります。
(上記はイメージ画像ですので、実物と異なる場合があります。)

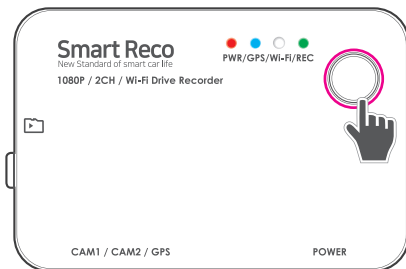
各部の名称及び機能 - 本体





名称	説明
① ウィンドウブラケット	ガラスとサイドカメラの接着面
② カメラレンズ	サイドカメラレンズ
③ セキュリティLED	常時録画中、青色LEDが点灯します。 駐車監視モード中、青色LEDが点滅します。 ※ 設定でON/OFFできます。
④ ステータスLED	常時録画中、青色LEDが点灯します。 駐車監視モード中、青色LEDは消灯します。 ※ 設定でON/OFFできます。

本体電源のONとOFFを切り替える方法



本体の操作ボタンを6秒以上長押しすることで電源をOFFにできます。
長押し時、1秒ごとに「ポーン」と音がします。6回音がした次の音で電源がOFFになります。

駐車監視モードのONおよびOFFの切り替え方法

常時録画中に本体の操作ボタンを4秒長押しすると、駐車モードのON / OFFを切り替えることができます。

切替時に「駐車モードON」または「駐車モードOFF」の音声案内が出力されます。

「駐車監視モードOFF」設定時、車両のエンジンをOFFにすると、ドライブレコーダーの電源がOFFになり、駐車中に録画をしません。

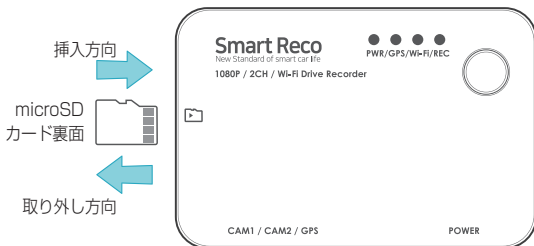
※ スマートフォンアプリでも駐車監視モードのON / OFF切替操作が可能です。

※ 必ず本体電源をOFFにしてから行ってください。

挿入方法

microSDカードを矢印の方向でカチッと音がするまで挿入してください。

※ 向きにご注意ください。



取り外し方法

挿入されたmicroSDカードを一旦奥に押し、ゆっくり手を放してください。



注意

『損傷または物的損害が発生する恐れがある』内容です。

※ microSDカードを無理に挿入した場合、本体とmicroSDカードが損傷する可能性があります。損傷が発生した問題に対して弊社は一切の責任を負いません。

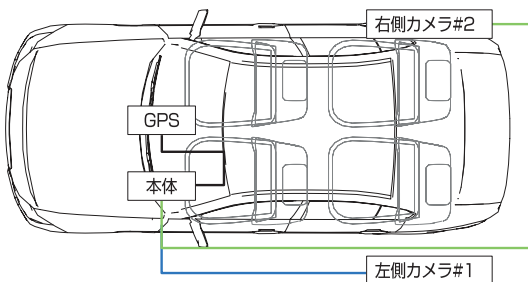
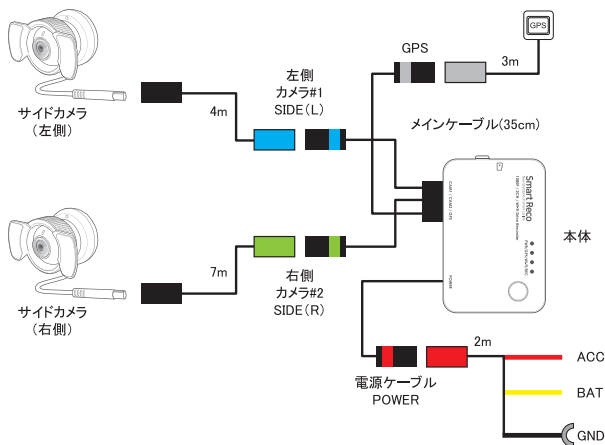
メモリーカード使用の際の注意事項

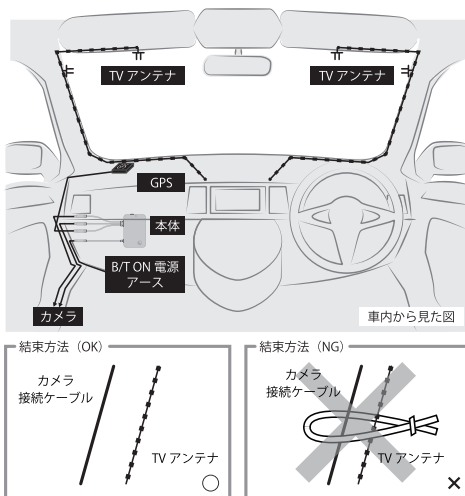
- ・メモリーカードは寿命がある消耗品ですので、6ヶ月を超えた場合、正常に録画がされない場合があります。製品寿命を経過したメモリーカードは交換してください。
- ・製品の正常作動を確認するため、週1回以上データの確認をおすすめします。
- ・メモリーカードは必ず純正品をご使用ください。純正のメモリーカード以外のカードを使い、起こった問題などに関して弊社は一切の責任を負いません。
- ・本体の電源がOFFの時にメモリーカードの取り外しを行ってください。録画時に抜き差しを行うとメモリーカード及び本体が破損する恐れがあります。
- ・重要な録画映像データはメモリーカード以外の別途パソコン・スマートフォンにバックアップを取ることでデータの紛失を未然に防止することができます。

製品取付 – 取り付け時の注意事項

- 本製品を取り付ける際には、本体及び付属品が全て揃っていることを確認し、取り付け方法を確認した上で、所定の手順に従って取り付けてください。取り付けに分解整備を伴う場合や車両ハーネスから直接電源を供給する場合は必ず自動車整備認証工場または指定工場で行ってください。
- 取り付け作業は、できる限り水平な場所で、必ずバッテリーのマイナス端子を外した状態で行ってください。
- SRS（エアバッグ）等、車両の安全装置や、その他の装置に影響が出る場所に絶対に設置しないでください。
- ガラスの塗装部分及び遮光フィルム・熱線などは避けて取り付けてください。脱着時に塗装部分及び遮光フィルム・熱線などが剥がれる恐れがあります。
- 本製品を装着したガラスは常にきれいにしてください。
- 設置場所の明るさや、ガラスの反射等により、映像品質が落ちる場合があります。取り付け後に撮影テストを行い、映像品質に問題が出ない場所に設置してください。

接続図

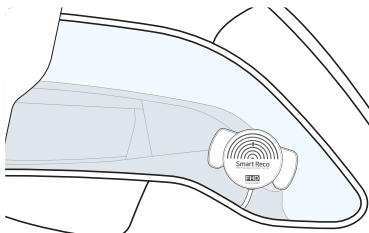




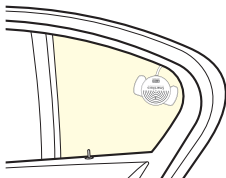
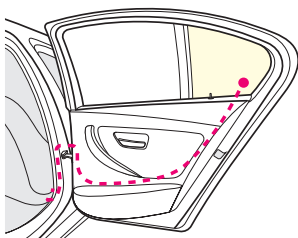
- 図の様にフロントガラスにTVアンテナが取り付けられている車輛に本製品を使用する場合、テレビの電波干渉が起きる可能性があります。走行中はテレビを見ないでください。
- 図の様に本製品の配線とTVアンテナ線はできる限り離して取り付けてください。
- 本製品とテレビ・ラジオを同時使用して発生した電波障害は、保証の対象になりません。予めご了承ください。

サイドカメラの取付

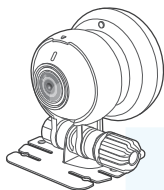
- ワゴン・SUV・ミニバン・クーペ等のリアクォーターガラスが設定されている車はリアクォーターガラスにサイドカメラを取り付けてください。



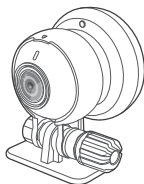
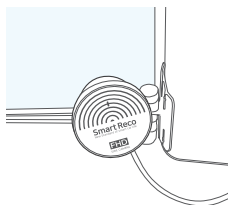
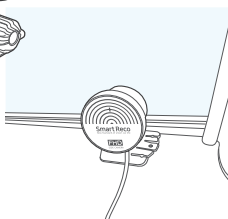
- ハッチバック・セダン等でクォーターガラスが無い車種は、リアドア内張を通して可動しないリアドアガラスの三角窓に設置してください。



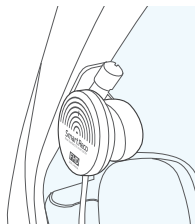
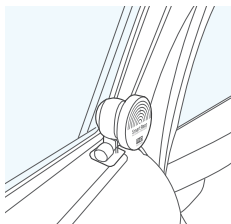
- 一部コンパクトカー・ハッチバック等のリアドアガラスが全て可動する車種は、オプションのトリム用ブラケットを使用し、サイドカメラをドアトリムや車内の内装に取り付けてください。



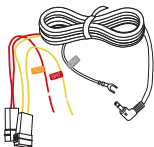
トリム用ブラケット（黒）
接地面をある程度曲げることができるため
様々な設置が可能です。



トリム用ブラケット（透明・小型）
接地面が小さいため
ブラインド付きドアにも取付が可能です。



- ① 電源ケーブルを車両に接続します。ただし、本体メインケーブルと電源ケーブルの接続はカメラ、GPSモジュールがすべて接続された後、最後に接続してください。

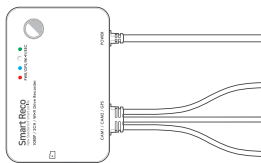


※ 電源の接続は、専門店（正規ディーラー、販売店等）で行ってください。

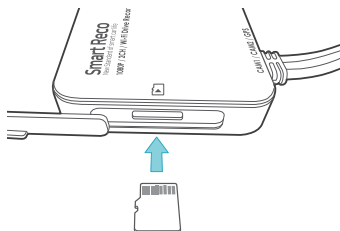
配線が間違っている場合は正常に動作しなかったり、製品が故障する可能性があります。

- 黒色：GND（アースポイント）
- 赤色：ACC（エンジンがONの時、電源が供給される箇所）
- 黄色：BAT（エンジンON / OFFに関わらず、常に電源が供給される箇所）

- ② 本体メインケーブルの各配線にカメラ、GPSモジュールを接続します。



- ③ カバーを外し、microSDカードスロットに付属のmicroSDカードを接続します。

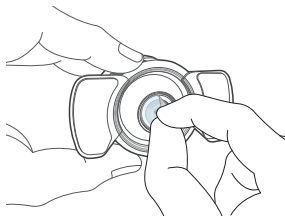


- ④ 各カメラを設置するガラスの脱脂作業を行います。



- ⑤ カメラのレンズ保護フィルムをレンズ面に触れないよう丁寧に外してください。

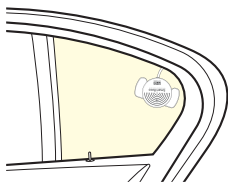
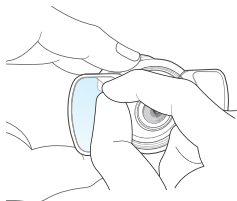
※ レンズ保護フィルムを除去しなかった場合、録画画質が低下します。



- ⑥ カメラブラケットの両面テープフィルムを取り外した後、リアクォーターガラスに接着してください。

カメラを内装に取り付ける場合は、トリム用ブラケットを使用してください。

※ サンシェード付き車両は干渉しない場所に設置してください。

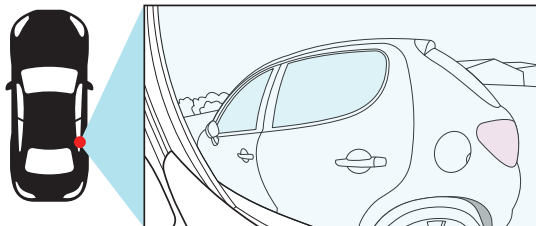
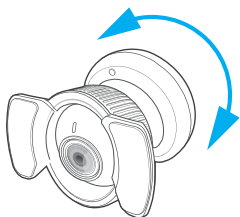


- ⑦ エンジンON後、録画の開始を確認してください。
スマートフォンアプリに接続して、リアルタイム画面を確認してください。
- ⑧ スマートフォンアプリでリアルタイム画面を見ながら撮影角度を調節してください。

カメラ

カメラ部分を回して左右画角、上下画角を調整してください。
上下が逆になる場合はスマートフォンアプリ設定で「上下反転」設定を行ってください。

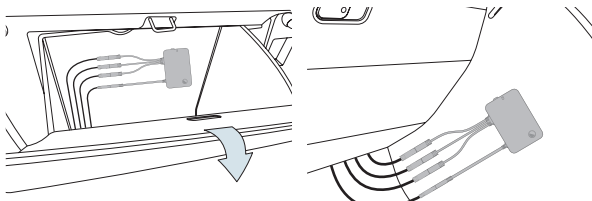
360° 自由に回転できます



※ カメラをフロントガラスに取り付ける場合、フロントガラスに取り付けたカメラの常時LED設定をOFFにしてください。

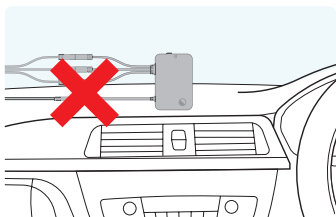
- ⑨ 本体に両面テープを貼り付け、センターコンソール付近、もしくはグローブボックス内に設置し本体を固定します。

音声案内が聞き取りやすいセンターコンソール付近を推奨いたします。

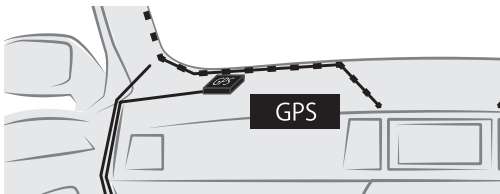


注意！

本体をダッシュボードに設置しないでください。高熱になり安定動作しない可能性があります。



- ⑩ GPSモジュールをAピラー内、もしくはフロントガラス付近に両面テープで設置します。



[操作ボタン動作]

機能	操作	説明
電源ON	1秒以上長押し	本体電源OFFかつACC ONの状態で作
手動録画	短く1回クリック	イベント録画
Wi-Fi 使用有無	2秒長押し	Wi-Fi ON/OFF切替
駐車使用有無	4秒長押し	駐車モード ON/OFF切替
電源OFF	6秒以上長押し	本体電源 ONの状態で作

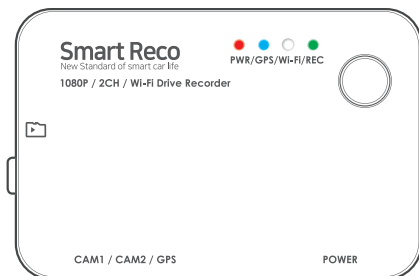
※ キーを押して1秒以降から1秒ごとに“ディン”音が発生 → どれだけ押したか確認可能

[音声案内]

主要状況	音声案内
録画開始	「録画を開始します。」
録画中断	「録画を中止します。」
イベント	「ピピッ」
GPS接続	「GPS信号を受信しました。」
SDカードエラー	「SDカードを点検してください。」
FW アップグレード	(開始) 「アップデートを開始します。」 (終了) 「アップデートに成功しました。」
フォーマット	「SDカードのフォーマットが必要です。 フォーマットをご希望の場合は、ボタンをもう一度押してください」 音声案内後、ボタンを押すとフォーマットを開始します。
電源OFF	「ピロリン」
駐車モード使用有無	「駐車モードON」 / 「駐車モードOFF」
Wi-Fi使用有無	「Wi-Fi ON」 / 「Wi-Fi OFF」
カメラ接続エラー	「カメラのステータスが変更され、システムを再起動します。」

※ 音量を「使用しない」場合、音声案内は出力されません。

音量が 1 -3 段階の場合に音声案内が出力されます。

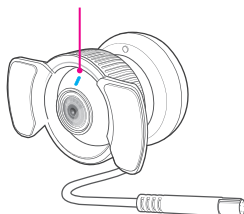


[LED動作]

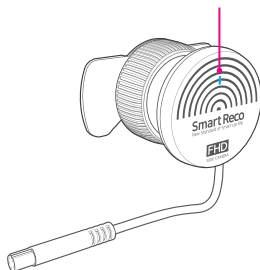
表示	色	機能	動作方法
PWR	赤	電源	点灯 (正常) 点滅 (システムエラー) 消灯 (OFF)
GPS	青	GPS	受信 (点灯) 未受信 (消灯)
Wi-Fi	白	Wi-Fi	点灯 (使用中) 10秒間点滅 (アプリ接続時) 消灯 (使用しない)
REC	緑	ステータス	点灯 (録画) 点滅 (イベント録画)

フォーマット時は、すべてのLED点滅。
起動時、正常動作前まですべてのLED点灯。

セキュリティLED



ステータスLED



[セキュリティLED動作]

	設定値	通常	イベント
常時モード	ON	点灯	点灯
	OFF	消灯	消灯
駐車モード	ON	遅く点滅	早く点滅
	OFF	消灯	消灯

[ステータスLED動作]

	LED状態
常時モード	点灯
駐車モード	消灯

操作	状況	動作	音声案内	LED表示
モード切替	駐車モード → (ACC ON)	常時録画モード動作	"常時録画モードに切り替わります"	本体赤・白・緑のLED点灯
	常時モード → (ACC OFF)	駐車監視モード動作	"駐車監視モードに切り替わります"	本体赤・白・緑のLED点灯
操作ボタン	短く1度押す	強制イベント録画	ブザー音2回	本体緑LED点滅
	長く (2秒-3秒)	Wi-Fi ON / OFF	"Wi-Fi ON" or "Wi-Fi OFF"	本体白色LED点灯 / 消灯
	長く (4秒-5秒)	駐車モードON / OFF	"駐車モードON" or "駐車モードOFF"	-
	長く (約6秒以上)	電源OFF	ブザー音	本体LED消灯
常時録画モード (ACC ON)	常時録画	1分単位で連続録画	-	本体緑LED点灯
	衝撃発生時	衝撃感知前5秒・後15秒 (合計20秒) の映像保存	ブザー音2回	本体緑LED点滅
	GPS信号受信時	録画映像の下段に「G」で表示速度測定および運行記録保存開始	"GPS信号を受信しました"	本体青LED点灯
ハイパーラプス (ACC ON)	長時間記録モード録画	2分28秒 (148秒) 単位で連続録画	-	本体緑LED点灯
	衝撃感知時	感知前の43秒、後の15秒 (合計58秒) 映像保存	-	本体緑LED点滅

操作	状況	動作	音声案内	LED表示
駐車監視 モード (ACC OFF)	感知待機時	-	-	本体緑LED点灯 / サイドカメラ 青LED点滅
	モーション感 知時	感知前の5秒、 後の15秒（合計 20秒）映像保存	-	本体緑LED点滅 / サイドカメラ 青LED早く点滅
	衝撃感知時	衝撃 感知前の5秒、 後の15秒（合計 20秒）映像保存	ブザー音2回	本体緑LED点 滅 / サイドカ メラ青LED早 く点滅
	遮断電圧、遮 断時間、高温 による終了時	遮断された記録 をSDカードに残 して終了	ブザー音	-
長時間記 録 モード (タイム ラプス) (ACC OFF)	長時間記録モ ード録画	2分28秒（148 秒）単位で連続 録画	-	本体緑LED点灯 / サイドカメラ 青LED点滅
	衝撃感知時	感知前の43秒、 後の15秒（合計 58秒）映像保存	-	本体緑LED点滅 / サイドカメラ 青LED早く点滅
	遮断電圧、遮 断時間、高温 による終了時	遮断された記録 をSDカードに残 して終了	ブザー音	-
超低電力 モード (ACC OFF)	衝撃感知時か ら約1.5秒後	駐車衝撃ファイル (20秒)保存後、 駐車ファイル(20 秒)保存	-	本体緑LED点 滅/サイドカメ ラ青LED早く 点滅

※ 駐車 / 常時に切り替え時、ドライブレコーダーの再起動が終わるまでは映像は録画されません。

※ 音量及び駐車モードLED設定値によって音声案内及び駐車LEDが作動しない場合があります。

操作	状況	動作	音声案内	LED表示
その他	駐車監視モード衝撃録画後、常時モードに切替	通知メッセージ	“駐車監視中に衝撃を感知しました。”	-
	カメラの接続が解除された場合	通知後に再起動	“カメラ状態が変更されたため、システムを再起動します。”	-
	アプリでSD容量を変更もしくは設定を初期化した場合	通知後に再起動	“アプリからの設定変更を反映するためにシステムを再起動致します。”	-
	ファームウェアアップデート	アップデート後再起動	-	本体 赤、青、白、緑のLED点滅
	新規SDカードを挿入した場合	フォーマット通知メッセージ	“SDカードのフォーマットが必要です。フォーマットが必要な場合は、ボタンをもう一度押してください。”	-
	SDカードが挿入されていない場合	音声案内後再起動	“SDカードを点検してください”	-
	SDカードに異常があった場合			
	SDカードの交換推奨時	SDカード寿命通知	“安定的な録画のためSDカードの交換をお勧めします。”	
	アプリで駐車長時間モードの録画中に超低電力モードまたはモーション感知に変更した場合	通知後に再起動	“アプリからの設定変更を反映するためにシステムを再起動致します。”	

※ 駐車 / 常時に切り替え時、ドライブレコーダーの再起動が終わるまでは映像は録画されません。

※ 音量及び駐車モードLED設定値によって音声案内及び駐車LEDが作動しない場合があります。

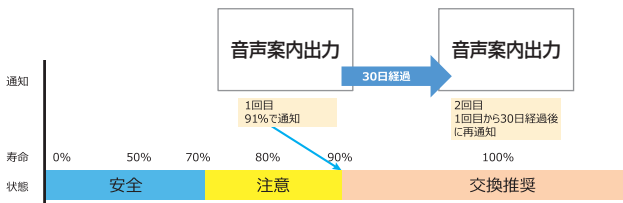
SDカード寿命通知について

SDカード寿命通知は、SDカード状態が交換推奨になった時の本体起動時に最初の通知を行います。

通知が出た時は、SDカードの寿命が近づいています。

新しい純正SDカードへの交換を検討ください。

交換しなかった場合、30日後の起動時に再度通知を行います。

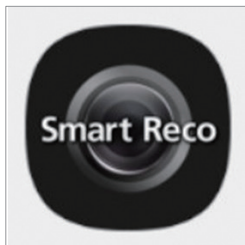


※ 音声案内：“安定的な録画のためSDカードの交換をお勧めします。”

- 超低電力モードとは、駐車監視モードに移行した際にドライブレコーダーの電力消費を抑えるためにスリープの状態で待機し、衝撃が発生した場合のみスリープ状態から立ち上がり、映像を録画するモードの事です。
- 駐車監視モードで超低電力モード使用時、モーション感知録画、長時間モード録画に比べて、車両バッテリーの消耗を最小限にするためバッテリー保護に最適化されたモードです。
- 超低電力モードでは、衝撃感知後約1.5秒後に録画を開始しその後20秒間映像を録画します。
衝撃前から衝撃の瞬間映像は録画されません。
※ 衝撃の瞬間映像が必要な場合には超低電力モードを使用しないでください。
- スリープ状態から立ち上がり20秒間の駐車衝撃録画が終わった後、続いて20秒間録画を行い、スリープ状態に切り替わります。
- 超低電力モードでは、音声録音はできません。
- 超低電力モードでは、Wi-FiはOffになります。
スマートフォンとの接続はできません。

- ※ スリープ状態から立ち上がり、録画した映像の初期の数フレームは映像がおかしく見えることがあります。これは衝撃直後の映像を最大限確保するためにカメラが初期化中の映像まで意図的に録画するためであり、製品の欠陥ではありません。
- ※ 超低電力モードに設定した場合、衝撃が起きた時点の映像は記録されませんのでご注意ください。

※ 画像はAndroid版です。



1. お手持ちのスマートフォンにスマートレコアプリをインストールしてください。

アプリはGoogle Play StoreまたはApp Storeで「SmartReco」を検索してインストールしてください。



2. アプリ起動後、「ドライブレコーダー接続」をタッチしてください。



スマートフォンアプリ設定方法



3. スマートレコとスマートフォンを無線LANで接続します。

スマートフォンのWi-FiリストからSSID “SMARTRECO_XXXXXX” を選択し、初期パスワード (87654321) を入力することで、ドライブレコーダーに接続することができます。

※ Wi-Fi設定から任意のパスワードに変更できません。

※ スマートフォンの無線LAN接続方法については、スマートフォンの取扱説明書をご参照ください。



スマートフォンアプリ設定方法



4. 無線LAN接続後、スマートレコアプリ>ドライブレコーダー接続をタッチします。

接続が完了すると、中央にスマートレコの情報が表示されます。



スマートフォンアプリ ホーム画面



① Ver.情報

現在のドライブレコーダー本体のバージョンを確認できます。

② ドライブレコーダー設定

ドライブレコーダー本体の各種設定変更ができます。

③ ドライブレコーダー映像

SDカード内に記録された映像と、ドライブレコーダーで現在録画している映像を確認することができます。

④ システムログ

ドライブレコーダーの動作記録を確認できます。

⑤ ストレージ

スマートフォンに保存した映像が確認できます。

⑥ ご案内

無線LANに繋がりにくい場合はこちらをご参照ください。

⑦ サポート

サポート情報が記載されております。

⑧ アプリ設定

ドライブレコーダーのファームウェアのダウンロードやスマートフォンのストレージの空き容量の確認 / 削除ができます。

スマートフォンアプリ SDカード内映像再生



1. ドライブレコーダー映像ボタンをタッチします。



2. SDカード内映像をタッチします。

スマートフォンアプリ SDカード内映像再生



3. リストから再生したい映像をタッチします。

4. 映像再生をタッチします。



スマートフォンアプリ SDカード内映像再生



5. タッチした映像が再生できます。
スマートフォンを回転すれば全画面で再生できます。

リスト画面に戻る場合は、「戻る」ボタンを押してください。



スマートフォンアプリ SDカード内映像保存方法



1. 映像をスマートフォンに保存する場合は、映像リストから保存したい映像をタッチし、ダウンロードをタッチします。



2. ダウンロード開始後、「ストレージに保存されました。」と表示されればスマートフォンへの保存が完了します。



スマートフォンアプリ SDカード内映像保存方法



3. ダウンロードした映像はアプリ内「ストレージ」から再生できます。

保存した映像は再生以外にも他のアプリへ共有、カット編集、削除することが可能です。



※ スマートフォンアプリ操作方法の詳細はスマートレコwebサイトを参照ください。
<https://www.smartreco.jp/>

スマートフォンアプリ – 環境設定画面



① 録画設定

音声録音の使用有無、駐車モーション感度、常時衝撃値、駐車衝撃値、駐車モード使用有無、駐車動作モード、駐車容量、ハイパーラプス使用有無などを設定できます。

② 時間設定

ドライブレコーダーの現在の時刻、時刻同期、手動設定ができます。

③ 画面設定

左側/右側カメラに対してそれぞれ左右反転、上下反転、常時LED動作有無、駐車LED動作有無の設定ができます。

④ システム設定

音量設定、遮断電圧値、遮断時間設定およびSDカードフォーマットと環境設定初期化ができます。

⑤ ドライブレコーダー情報

ファームウェアバージョン、Wi-Fi MACアドレス、バッテリー電圧値を確認でき、ファームウェアアップデートもできます。

⑥ Wi-Fi設定

ドライブレコーダーWi-Fiパスワードの確認及び変更が可能で、ステーションモード（STAモード）使用のための駐車モード接続設定、駐車モード受信番号設定が可能です。

スマートフォンアプリ ホーム画面



① 音声録音

音声録音の使用有無を設定できます。初期設定は音声録音Onです。

② 駐車モーション感度

駐車監視モード中のモーション感度を低（鈍感） / 中（普通、初期設定） / 高（敏感）の中から設定できます。

③ 常時衝撃値

常時録画モード中に衝撃を感知したとき、イベント録画するための感度を設定します。最低（超鈍感） / 低（鈍感） / 中（普通、初期設定） / 高（敏感） / 最高（超敏感）の中から設定できます。

④ 駐車衝撃値

駐車監視モード中に衝撃を感知したときに、イベント録画するための感度を設定します。低（鈍感） / 中（普通、初期設定） / 高（敏感）の中から設定できます。

⑤ 駐車監視モード

駐車モードの使用有無を設定できます。初期設定は駐車モードOnです。使用しない(Off)設定時、常時モードから駐車モードへの切り替え中に電源を終了します。

⑥ 駐車動作モード

駐車動作モードはモーション感知(初期設定)/タイムラプス/超低電力モードの中から設定できます。詳しくはP69～P71をご参照ください。

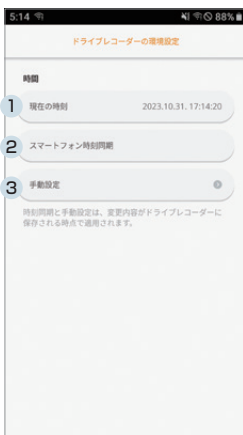
⑦ 駐車容量

駐車容量を0%、25%、50%から選択できます。初期設定は25%です。詳しくはP72～P73をご参照ください。

⑧ ハイパーラプス

常時モードでハイパーラプスの使用有無を設定できます。ハイパーラプスを使用すると、常時ファイルは1秒あたり4枚ずつ連続保存されます。詳しくはP68をご参照ください。

スマートフォンアプリ ホーム画面



① ドライブレコーダー現在時間

ドライブレコーダーの現在の時刻を示します。

② スマートフォン時刻同期

ドライブレコーダーの時間をスマートフォンの現在の時間に同期化して更新できます。時間同期化時、ドライブレコーダーの環境設定を保存して出てくる時点でドライブレコーダーの時間が更新されます。更新時点によって時間差が出る場合があります。

③ 手動設定

ドライブレコーダーの時刻をアプリから直接年/月/日/時/分/秒まで更新できます。時刻同期時、ドライブレコーダーの環境設定を保存して出てくる時点でドライブレコーダーの時刻が更新されます。更新時点によって時間差が出る場合があります。

スマートフォンアプリ - 画面設定画面



[左側カメラ (CAM1)]

① 左右反転

左右反転の有無を設定できます。
初期設定はOff(正像)です。

② 上下反転

上下反転の有無を設定できます。
初期設定はOff(正像)です。

③ 常時LED左側

常時モードでセキュリティLEDの使用有無を設定できます。初期設定はOn(使用)です。

④ 駐車LED左側

駐車監視モードでセキュリティLEDの使用有無を設定できます。初期設定はOn(使用)です。

⑤ 駐車LED動作

駐車監視モードでセキュリティLED動作を設定できます。初期設定は点滅です。



[右側カメラ (CAM2)]

⑥ 左右反転

左右反転の有無を設定できます。
初期設定はOff(正像)です。

⑦ 上下反転

上下反転の有無を設定できます。
初期設定はOff(正像)です。

⑧ 常時LED右側

常時モードでセキュリティLEDの使用有無を設定できます。初期設定はOn(使用)です。

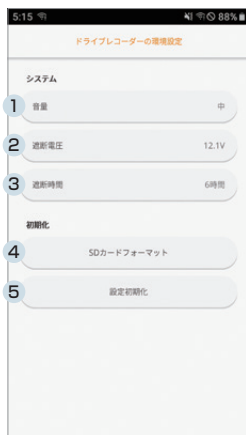
⑨ 駐車LED右側

駐車監視モードでセキュリティLEDの使用有無を設定できます。初期設定はOn(使用)です。

⑩ 駐車LED動作

駐車監視モードでセキュリティLED動作を設定できます。初期設定は点滅です。

スマートフォンアプリ – システム設定画面



① 音量

音声案内の音量を4段階(使用しない/1段階 / 2段階(初期設定) / 3段階)に設定できます。

② 遮断電圧

駐車監視モードの遮断電圧は11.7V / 11.9V / 12.1V(初期設定) / 12.3Vで選択して設定できます。

③ 遮断時間

駐車監視モードの遮断時間は、使用しない / 3時間 / 6時間(初期設定) / 12時間 / 24時間から選択して設定できます。

④ SDカードフォーマット

SDカードをフォーマットします。

⑤ 設定初期化

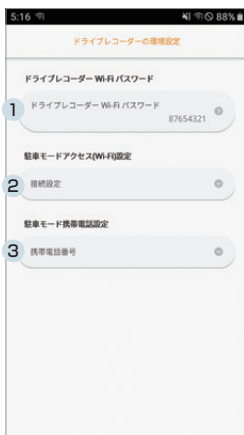
すべての設定を初期設定値に戻し、SDカードをフォーマットします。

スマートフォンアプリ -ドライブレコーダー情報画面



- ① **ファームウェアバージョン**
ドライブレコーダーのファームウェアバージョンを表示します。
- ② **ファームウェアアップデート**
サーバーにドライブレコーダー端末のファームウェアより最新バージョンのファームウェアがある場合は、ファームウェアのアップデートを行うことができます。
- ③ **MACアドレス**
現在ドライブレコーダーのWi-FiモジュールのMACアドレスを表示します。
- ④ **バッテリー電圧**
現在、ドライブレコーダーに入力されている電圧値を示します。

スマートフォンアプリ – Wi-Fi設定画面



- ① **ドライブレコーダーWi-Fiパスワード**
ドライブレコーダーのWi-Fiパスワードを確認・変更することができます。
- ② **駐車モードアクセス (Wi-Fi) 設定**
駐車モード接続設定ができます。最大3つのルーターSSID情報を登録できます。
- ③ **駐車モード携帯電話設定**
ステーションモード (STAモード) で使用するスマートフォンの電話番号を最大3個登録できます。

Wi-Fi 動作説明

- ドライブレコーダーのWi-Fi動作モードは「APモード」と「ステーションモード」の2つの動作モードがあります。
- APモードとはアプリからドライブレコーダーのWi-Fiと接続し、ドライブレコーダー設定、リアルタイム映像閲覧、録画映像ダウンロード、ファームウェアアップデートなどができます。ドライブレコーダーとスマートフォンが接続すると、インターネットの接続は出来ません。
- ステーションモードとはドライブレコーダーが自宅またはオフィスで使用中のWi-Fiルーターに接続し、駐車中に発生した情報をユーザーにプッシュ通知する事が出来ます。ドライブレコーダーとスマートフォンはWi-Fiルーターを介し繋がってます。
- 常時モードでWi-Fi設定がONの場合、ドライブレコーダーはAPモードで動作します。
- 駐車モードでWi-Fi設定がONになり、駐車モードWi-Fi設定情報と携帯電話番号設定情報が登録されている場合は、ドライブレコーダーはステーションモードで動作します。
- ただし、Wi-Fi設定がONになっているが、駐車モードWi-Fi設定情報と携帯電話番号設定情報が登録されていない場合は、ドライブレコーダーはAPモードで動作します。

※ アプリはGoogle Play StoreまたはApp Storeで「SmartReco」を検索してインストールしてください。



アクセスポイントモード(APモード)について

- 常時モードでWi-Fi設定がONになると、ドライブレコーダーはAPモードで動作します。
- 常時モードのアプリは、スマートフォンWi-FiリストからSSIDが“SMARTRECO_XXXXXX”を選択し、初期パスワード(87654321)を入力すると、ドライブレコーダーに接続することができます。(XXXXXXはドライブレコーダーのWi-Fi MACアドレスです。)
- スマートフォンにインストールしたアプリを通じてドライブレコーダーのすべてのカメラに対してリアルタイムで映像を確認する事ができます。
- SDカードに保存された映像ファイルリストを確認し、必要なファイルをダウンロードしたり、すぐに再生したりする事ができます。
- ファームウェアのアップデートも可能です。

ステーションモード(STAモード)について

- Wi-Fi設定ONになった状態で駐車モードに切り替えると、常時モードでAPモードで動作していたドライブレコーダーがSTAモードに切り替わります。
 - 駐車モードで動作中にドライブレコーダーから通知されたメッセージをスマートフォンにインストールされたアプリで確認できます。
 - ドライブレコーダーから通知されるメッセージは、駐車モードへの切替通知、駐車イベント発生通知、電源遮断通知(遮断電圧、遮断時間、高温遮断)があります。
- ※ ただしSTAモードの動作は駐車モードアクセス(Wi-Fi)設定と駐車モード携帯電話設定が正常に登録されている必要があります。
- ※ アプリはGoogle Play StoreまたはApp Storeで「SmartReco」を検索してインストールしてください。

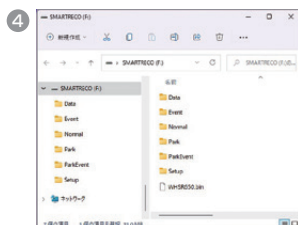
スマートフォン設定

- ステーションモードを使用するには、常時モードの状態ですmartフォンにインストールされたアプリからアクセスポイントモード（APモード）に接続し、駐車モードWi-Fi設定でお客様のルーター情報（P49参照）及びスマートフォン情報を登録する必要があります。
- 駐車監視モードで発生した通知（駐車モード切替、駐車イベント、電源遮断）情報は、登録したアプリに送信されます。
- スマートフォンアプリの、環境設定＞Wi-Fi設定から、最大3つの携帯電話番号を登録できます。
登録する際は、それぞれのスマートフォンで本機に接続する必要があります。
- 駐車監視モードで発生した通知情報は、電話番号毎に通知 / 非通知の選択ができます。
- ステーションモードを使用するには、スマートフォンアプリで「駐車モード携帯電話設定」の登録が必要です。
- アプリで登録した電話番号（1,2,3）はアプリを再インストールすると、登録された電話番号を削除して再登録が必要です。
未登録の場合、APモードで動作します。

※ 受信者の携帯電話番号登録/削除は、アプリでのみ可能です。

[アップデート方法（インターネットに接続された環境が必要です）]

1. 専用ビューアのメイン画面でプログラム情報ボタン  をクリックすると、専用ビューアとファームウェアバージョンの確認及びアップデートが可能です。（ファームウェアバージョンの情報が保存されたmicroSDカードを挿入すると、①のようなファームウェア情報が表示されます）
2. microSDカードが挿入されたドライブを確認し、アップデートボタンをクリックしてください。最新のファームウェアファイルがmicroSDカードにダウンロードされます。
3. ダウンロードが完了したら、microSDカードにアップデートファイル（WHSR-S100.bin）が表示されます。

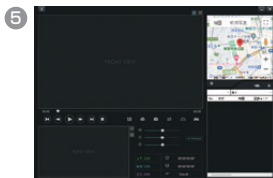
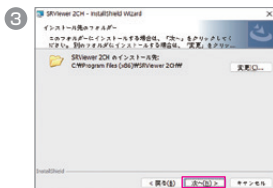


- 
4. ドライブレコーダーの電源をOFFした後、ファームウェアファイルが保存されているmicroSDカードを挿入します。
 5. ドライブレコーダーの電源をONにするとアップデートが開始されます。アップデートが完了すると自動的に再起動します。
 6. ドライブレコーダーが再起動したら録画を開始します。

- ※ アップデート中は絶対に電源を切ったりmicroSDカードを抜かないでください。
- ※ アップデートの内容により、アップデート後にmicroSDカードのフォーマットする必要がある場合もあります。
- ※ アップデート中は録画を中止します。
- ※ アップデートに失敗した場合は、アップデートファイル (WHSR-S100.bin) を再度ダウンロードしてください。

専用ビューアーをインストールする

1. microSDカードに保存された専用ビューアーインストールファイル（SRViewer 2CH.exe）を実行し、次の手順に従ってクリックすればインストールが完了します。
2. インストールが完了したら、デスクトップに専用ビューアーのショートカットアイコンが表示されます。以降専用ビューアーを起動する場合は、ショートカットアイコンをダブルクリックして起動します。



[専用ビューア動作環境]

- OS : Windows10, 11
または、Microsoftがサポートしている Windows OS
- CPU・メモリー : Intel Core i5 以上 / クアッドコア 以上 / 8GB RAM 以上
- ウェブブラウザ : Microsoft Edge 86.0.616.0 以上
- Microsoft Edge Webview2 Runtime 86.0.616.0 以上
- ディスプレイの解像度 1366X768 以上
- タブレットには対応していません。
- ※ ウィンドウサイズは 1020X730 です。
- ※ MacOSX には対応していません。

※ 専用ビューアのインストールはインターネットに接続した環境で行ってください。



- ① プログラム情報
- ② カメラ1映像
- ③ 映像操作ボタン
- ④ カメラ2映像
- ⑤ 画面拡大 / 縮小、全体画面
- ⑥ 音量、明るさ、再生速度
- ⑦ 運行記録の再生
- ⑧ ハードウェアアクセラレーション ON / OFF
- ⑨ Gセンサー衝撃値 / 緯度 / 経度 / 速度
- ⑩ 地図 ON / OFF
- ⑪ ファイルを開く、並び替え
- ⑫ 再生リスト

- － 速度、地図情報はGPSモジュールが正常に電波を受信していない場合は表示されません。
- － 音声OFF（消音）で録画した映像は（M）で、GPS受信は（G）が映像の右下に表示されます。

**プログラム情報**

専用ビューアーとファームウェアのバージョン確認及びアップデートができます。

※ ファームウェアのバージョン情報を確認するためにはmicroSDカードをパソコンへ接続する必要があります。

**拡大 / 縮小**

左側 / 右側の映像を拡大 / 縮小して表示します。マウスのスクロールで拡大することができます。

**全画面表示**

左側 / 右側の映像を全画面で表示します。左側 / 右側再生画面をダブルクリックしても全画面で表示します。

**メイン画面に復帰**

全画面表示中、ビューアーメイン画面に戻ります。全画面表示中、再生画面をダブルクリックしてもビューアのメイン画面に戻ります。

**前のファイル / 次のファイルを再生**

映像を再生中に、前のファイル / 次のファイルを再生します。

**再生 / 一時停止**

再生リストから選択したファイルを再生したり、再生中のファイルを一時停止します。

**前フレーム/次フレームへ移動**

映像を再生中、このボタンをクリックすると一時停止し映像を1秒単位でコマ送りします。



ファイルコピー

現在再生中もしくは選択中の映像の、左側 / 右側の映像ファイルをパソコンにコピーします。

(保存先：C:¥BlackBox¥Backup)



画面印刷

再生中の画像を印刷します。



スクリーンキャプチャー

ビューアーの左側 / 右側の2つの再生画面をPNGファイルでパソコンに保存します。

(保存先：C:¥BlackBox¥CAPTURE)



カメラ画面切替

専用ビューアーのカメラ1とカメラ2の表示位置を切り替えます。



速度 / 加速度グラフ表示

グラフ表示ボタンをクリックすると、別のウィンドウを表示します。



速度 / 加速度の切り替え

速度と加速度グラフを表示します。

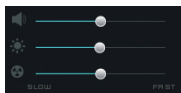
※ GPSモジュールが正常に電波を受信していない場合は表示されません。



運行記録の再生

運行記録を表示します。

※ GPSモジュールが正常に電波を受信していない場合は表示されません。



再生オプション

映像の音量、明るさ、再生速度を調整することができます。

H/W Accel

ハードウェアアクセラレーションON / OFF

グラフィックカードのハードウェアアクセラレーションを使用するかどうかを設定できます。ハードウェアアクセラレーションに対応していないコンピュータではOFF状態で円滑な映像再生が可能です。（初期設定：ON）

上下: 0.00	00'00"00.00"
前後: 0.00	00'00"00.00"
左右: 0.00	0 km/h

衝撃、位置情報

衝撃値、緯度・経度、速度を表示します。

GPSモジュールが正しく電波を受信していない場合は表示されません。



マップ表示 / 非表示

再生中の映像の運行位置情報を地図に表示します。

GPSモジュールが正常に電波を受信していない場合、運行位置情報が表示されません。



ファイルを開く

映像ファイルを選択します。ShiftまたはCtrlキーを押した状態で、ファイルをクリックすると、複数のファイルを同時に選択できます。



昇順 / 降順に切替

再生リストファイルの並び替えを変更することができます。



アイコン	説明
① 	画面最小化 全画面表示をプログラムを終了せず隠すことができます。
② 	メイン画面に復帰 全画面表示からビューアーメイン画面に戻ります。
③ 	ビューアー終了 ビューアーを終了します。
④ 	再生オプション 映像の音量、明るさ、再生速度を調整することができます。
⑤ 	カメラ画面切替 左側（カメラ1）画面と右側（カメラ2）画面の表示位置を切り替えます。
⑥ 	プレイリスト SDカードの映像リストを表示します。



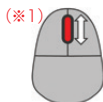
画面拡大



[メイン画面での左側映像の拡大]



[左側映像部分の拡大]



- 再生中の左側 / 右側の映像をクリックするか、画面拡大ボタンをクリックした後、マウスのスクロール (※1) を使用して映像のサイズを調節できます。
- 拡大した状態で画面をドラッグして位置を移動できます。

■ 運行記録は走行時に10秒ごとに記録し、microSDカードのDataフォルダにDATファイル形式で保存されます。

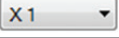
1つのファイルには最大1週間の運行記録が保存され、日付ごとの運行記録の一覧が表示されます。（但し、GPSモジュールが正常に電波を受信する場合に限ります。）



1. microSDカードをパソコンに接続し、ビューアから  ボタンをクリックすると、運行記録モード（上図）が表示されます。
2. 左側の  開くボタンをクリックすると、microSDカードのDataフォルダにあるDATファイルの一覧が閲覧でき、一覧の中のファイルを選択すると日付別の運行記録の一覧が閲覧できます。
3. リストから目的のファイルをクリックすると、右側に移動経路が表示されます。

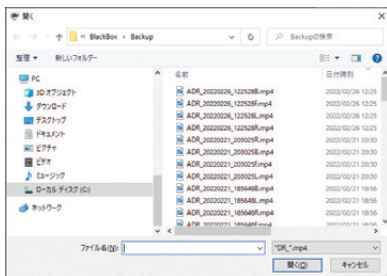
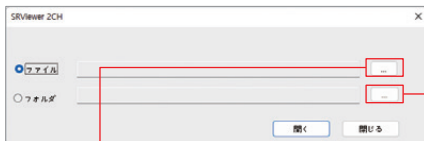
※ DATファイルは最大30個（30週間分）まで保存することができます。

◆ 下記の表は運行記録画面のアイコンについての説明です。

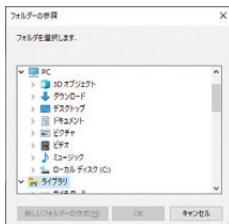
	アイコン	説明
①		microSDカードのDataフォルダ内に保存されている運行記録ファイル（.DAT）を開きます。
②		運行履歴画面をキャプチャし、jpgファイルとして保存します。 （保存先：C:¥BlackBox¥CAPTURE）
③		運行記録画面を印刷します。
④		移動経路を再生中に走行日付と時刻を表示します。
⑤		リストから選択した項目を移動経路順に再生します。
⑥		移動経路再生中、移動した経路にマーカを表示します。
⑦		移動経路再生時、0.5、1、1.5、2倍速で再生します。
⑧		運行記録画面を終了します。

ビューアーはmicroSDカードやパソコンに保存されたドライブレコーダーの映像を選択して、再生できます。

1. ビューアーのメイン画面で  ボタンをクリックします。
2. ファイルまたはフォルダでの読み込み方式を選択し、いずれかのファイルまたはフォルダ選択後、“開く” ボタンをクリックします。
3. 選択された映像が再生リストに表示されます。



[ファイル選択画面]



[フォルダ選択画面]

- Normalフォルダ：常時モードで映像を連続保存します。
 - 1) 通常：常時モードで60秒単位の映像を連続保存します。
 - 2) ハイパーラプス使用：1秒間に4枚の静止画を撮影し、2分28秒の様子を20秒に圧縮して連続保存します。
- Eventフォルダ：常時モード中に発生したイベント（強制保存またはイベント録画）の映像を保存します。
 - 1) 通常：衝撃を感知する前に5秒、後に15秒（計20秒）映像を保存します。
 - 2) ハイパーラプス使用：衝撃を感知する前に43秒（4fps）、その後15秒（29.1fps）（計58秒）の映像を保存します。
- Parkフォルダ：駐車監視モードで映像を保存します。
 - 1) 通常（モーション感知使用）：モーション感知の前5秒、後15秒（計20秒）の映像を保存します。
 - 2) 長時間記録モード使用：1秒間に4枚の静止画を撮影し、2分28秒の様子を20秒に圧縮して連続保存します。
 - 3) 超低電力モード録画：衝撃感知録画終了後、20秒間映像を保存します。
- ParkEventフォルダ：駐車監視モードでイベント（衝撃）による映像を保存します。
 - 1) 通常（モーション感知使用）：衝撃を感知する前に5秒、後に15秒（計20秒）映像を保存します。
 - 2) 長時間記録モード使用：衝撃を感知する前に43秒（4fps）、その後15秒（29.1fps）（計58秒）の映像を保存します。
 - 3) 超低電力モード録画：衝撃を感知後起動し、20秒間映像を保存します。
- Setupフォルダ：ドライブレコーダーの環境設定、電源遮断記録（CUT OFF.txt）が保存されるフォルダです。
- Dataフォルダ：運行記録データを保存します。

映像ファイル名の例

MDR_20231001_093100L.mp4
映像種類 年/月/日 時/分/秒 チャンネル区分

チャンネル区分

L: 左側映像
 (カメラ#1映像)
R: 右側映像
 (カメラ#2映像)

※ 上記映像ファイル名の場合、2023年10月1日9時31分00秒の前方ファイルになります。

映像の種類

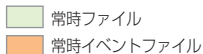
MDR	走行 / ハイパーラプス映像
EDR	走行イベント / 強制保存映像
PDR	駐車映像(モーション感知、タイムラプス)
ADR	駐車イベント映像

電源遮断記録は、駐車監視モードが遮断された日時をテキストファイル（CUTOFF.txt）に記録します。

例） - 2023/10/1 9:31 : 00 CUTOFF_METHOD_TIME, TIME_06H
 - 駐車監視モードの設定時間（6時間）を過ぎたため、停止。
 - 2023/10/1 9:31 : 00 CUTOFF_METHOD_V, 12.1V
 電圧が遮断設定値まで下がったため、停止。
 - 2023/10/1 9:31 : 00 CUTOFF_METHOD_T, 85T
 - 本体温度が85℃に達したため、停止

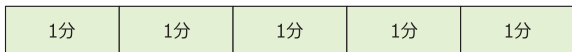
<注意>

1. SDカード内の内容を変更（ファイル削除、ファイル生成、フォルダ生成など）した場合、録画時の安定性に問題が生じることがありますのでご注意ください。また、起動時に本体からフォーマットをお勧めする案内メッセージが出ます。フォーマット後、正常に作動します。（映像ファイルをパソコンへコピーをするのは問題ありません。）
2. パソコンでSDカードをフォーマットした場合、本体でもう一度フォーマットした後、正常に作動します。



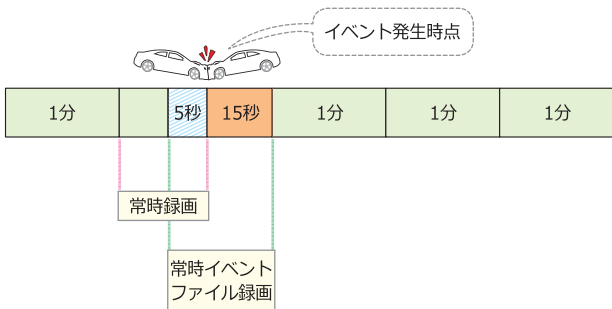
■ 常時録画ファイル

- 60秒単位で映像を連続保存します。



■ 常時イベントファイル

- 走行モード中に発生したイベント（強制保存衝撃）発生5秒前から15秒（計20秒）の映像を保存します。
- 常時ファイルは、イベント発生前までの録画後の映像は、イベントファイルに保存されます。

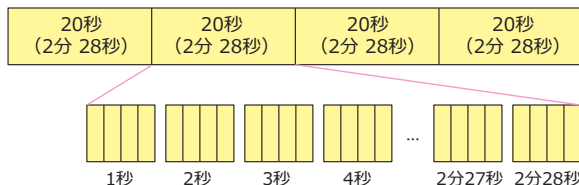


※ イベント発生時、常時ファイルとイベントファイルの映像が重なる時点（イベント発生前5秒）は、常時ファイル、イベントファイルともに保存されます。

- ハイパーラプスファイル
 ハイパーラプス衝撃ファイル

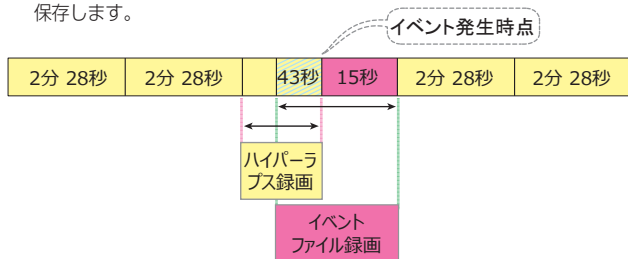
■ ハイパーラプスファイル

- 1秒間に4枚の静止画を撮影し、2分28秒の様子を20秒に圧縮して連続保存します。



■ ハイパーラプス衝撃ファイル

- ハイパーラプスファイルの連続保存中に衝撃が発生すると、衝撃発生前の43秒 (4fps) からその後15秒 (29.1fps) まで (合計58秒) の映像を保存します。



- ※ 衝撃発生時、ハイパーラプスファイルとハイパーラプス衝撃ファイルの映像が重なる時点（衝撃発生前43秒）は、ハイパーラプスファイル、ハイパーラプス衝撃ファイルにすべて保存されます。

※ ハイパーラプスモードに設定した場合、状況により事故の瞬間などが記録されない場合があります。

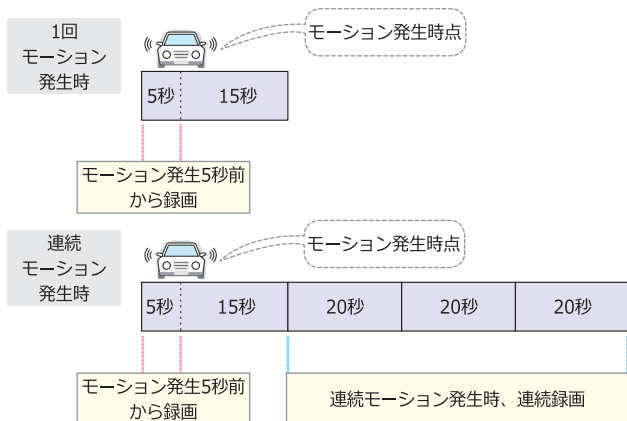
※ ハイパーラプスモードでは映像に音声は録音されません。

 駐車ファイル

 駐車イベントファイル

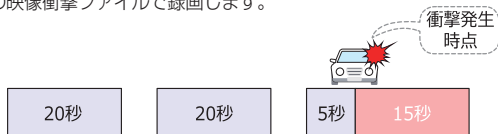
■ 駐車モーションファイル

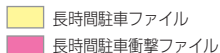
- 駐車モード中にモーションが発生した場合、モーション発生5秒前から発生後15秒（合計20秒）の映像を保存します。
- 連続モーションが発生した場合、次の駐車モーションファイルは5秒前の映像なしで映像を録画し続けます。



■ 駐車イベント(衝撃)ファイル

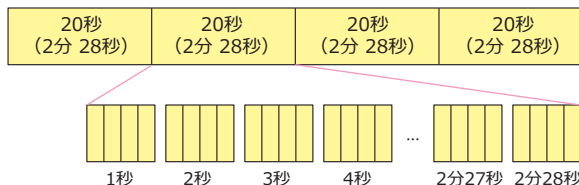
- 駐車録画中に衝撃が発生した場合、衝撃発生5秒前から発生後15秒（合計20秒）の映像衝撃ファイルで録画します。





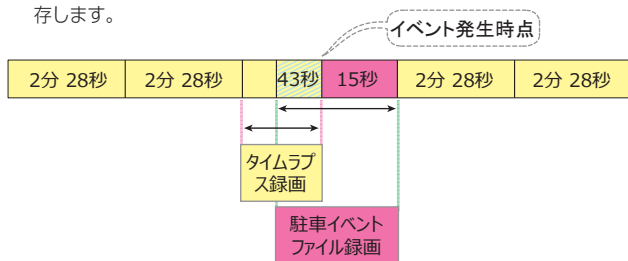
■ 長時間駐車ファイル

- 1秒間に4枚の静止画を撮影し、2分28秒の様子を20秒に圧縮して連続保存します。



■ 長時間駐車衝撃ファイル

- 長時間駐車ファイルの連続保存中に衝撃が発生すると、衝撃発生前の43秒(4fps)からその後15秒(29.1fps)まで(合計58秒)の映像を保存します。



- ※ 衝撃発生時、長時間駐車ファイルと駐車衝撃ファイルの映像が重なる時点(衝撃発生前43秒)は、長時間駐車ファイル、長時間駐車衝撃ファイルにすべて保存されます。

※ 長時間記録モードに設定した場合、状況により事故の瞬間などが記録されない場合があります。

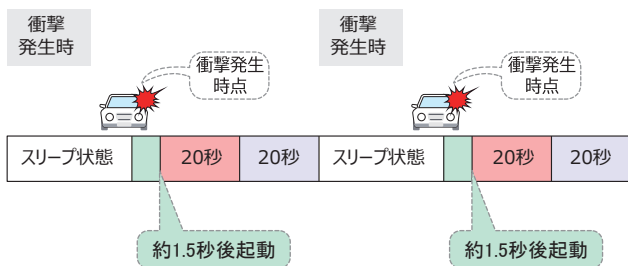
※ 長時間記録モードでは映像に音声は録音されません。

超低電力駐車ファイル

■ 超低電力モード駐車イベントファイル

超低電力駐車イベントファイル

- 超低電力モード中に衝撃が発生した場合、衝撃発生後起動時（約1.5秒）から20秒の映像を保存し、続いて駐車ファイル20秒の映像を保存します。



※ 超低電力モード駐車イベントファイル / 駐車ファイルを保存した後、次の衝撃が発生するまでスリープ状態になります。スリープ状態では録画は行いません。

※ 超低電力モードに設定した場合、衝撃が起きた時点の映像は記録されませんのでご注意ください。

※ 超低電力モードでは映像に音声は録音されません。

- microSDカードの全容量からNormalフォルダ、Eventフォルダ、Parkフォルダ、ParkEventフォルダが各タイプ別に設定された容量だけ、割り当てられて保存します。microSDカードの容量によってファイル数は異なります。

駐車使用量25%設定時（初期設定値）

SD 容量	常時（60%）		走行イベント（15%）		駐車（20%）		駐車イベント（5%）	
	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）
32GB	182	91	114	19	152	25	38	6
64GB	364	182	228	38	304	50	76	12
128GB	722	361	450	75	602	100	150	25

駐車使用量50%設定時

SD 容量	常時（40%）		走行イベント（10%）		駐車（40%）		駐車イベント（10%）	
	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）
32GB	122	61	76	12	304	50	76	12
64GB	242	121	152	25	608	101	152	25
128GB	482	241	300	50	1204	200	300	50

駐車使用量0%設定時

SD 容量	常時（85%）		走行イベント（15%）		駐車（0%）		駐車イベント（0%）	
	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）	ファイル数	録画時間（分）
32GB	258	129	114	19	0	0	0	0
64GB	516	258	228	38	0	0	0	0
128GB	1024	512	450	75	0	0	0	0

- ＜注意＞
1. フォルダ別に割り当てられた保存比率を超過すると、古いファイルから削除し、新しい録画ファイルを作成します。
 2. 安定的にフォーマットフリーシステムを運営するために一部のエリアがシステムに割り当てられます。

ハイパーラプス

駐車使用量25%設定時

SD 容量	常時 (60%)		走行イベント (15%)	
	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)
32GB	458	564	114	55
64GB	912	1124	228	110
128GB	1806	2227	450	217

駐車使用量50%設定時

SD 容量	常時 (40%)		走行イベント (10%)	
	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)
32GB	304	374	76	36
64GB	608	749	152	73
128GB	1204	1484	300	145

駐車使用量0%設定時

SD 容量	常時 (85%)		走行イベント (15%)	
	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)
32GB	648	799	114	55
64GB	1292	1593	228	110
128GB	2560	3157	450	217

長時間記録モード(タイムラプス)

駐車使用量25%設定時

SD 容量	駐車 (20%)		駐車イベント (5%)	
	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)
32GB	152	187	38	18
64GB	304	374	76	36
128GB	602	742	150	72

駐車使用量50%設定時

SD 容量	駐車 (40%)		駐車イベント (10%)	
	ファイル数	録画時間 (分)	ファイル数	録画時間 (分)
32GB	304	374	76	36
64GB	608	749	152	73
128GB	1204	1484	300	145

• ファイルサイズ (2CH)

- Normal : 最大 200MB / 1分 / 148秒 (左側 100MB / 右側 100MB)
- Event : 最大 80MB / 20秒 / 58秒 (左側 40MB / 右側 40MB)
- Park : 最大 80MB / 20秒 / 148秒 (左側 40MB / 右側 40MB)
- ParkEvent : 最大 80MB / 20秒 / 58秒 (左側 40MB / 右側 40MB)

製品名	WHSR-S100	
消費電力	(Wi-Fi, GPS接続時) カメラ1個接続時: 最大3.3W カメラ2個接続時: 最大4.7W 超低電力モード待機時: 最大0.05W	
カメラ	1920×1080[画角]: 168度[対角] / 138度[水平] / 70度[垂直]	
	HDR / STARVIS / ケーブル長さ: サイド (短) 4m / サイド (長) 7m	
映像フレーム	最大 29.1fps / 長時間モード (ハイパーラプス, タイムラプス) 使用時, 4fps	
オーディオ	[マイク] 内蔵マイク、PCM保存 [スピーカー] 音声案内	
ビデオ	H.264 (ファイル拡張子: mp4)	
Gセンサー	3軸加速度センサー	
セキュリティLED	カメラ青色LED ON/OFF対応 (常時録画モード:点灯、駐車監視録画モード動作時:点滅)	
動作状態LED	PWR LED	常時録画モード動作時LED ON
	GPS LED	GPS未受信時LED OFF/GPS受信時LED ON
	Wi-Fi LED	駐車監視録画モード動作時LED OFF
	REC LED	常時録画モード動作時LED ON
Wi-Fi	内蔵型 (802.11bgn 2.4GHz)	
GPS	外付GPSモジュール (みちびき対応)	
動作電圧	DC 12V / 24V	
録画方式	常時録画 / イベント録画 / 強制録画 / ハイパーラプス録画 / 駐車モーション録画 / 駐車イベント録画 / 長時間記録モード (タイムラプス) 録画 / 超低電力モード録画	
保存媒体	純正micro SD Card Class10 (最大128GBまで)	

外形寸法	本体：90 X 60 X 13.3mm
	カメラ：44.5 X 44.5 X 40mm
重量	本体：87g（microSDカード含む） / カメラ：41g
動作温度	-20℃ ～ 70℃
保管温度	-40℃ ～ 85℃
電源遮断機能	駐車監視録画モード設定（時間・電圧）により遮断
	時間設定：3時間 / 6時間 / 12時間 / 24時間 / 使用しない（初期設定：6時間）
	電圧：11.7V / 11.9V / 12.1V / 12.3V（初期設定：12.1V）
ビューア対応OS	Windows10, 11 または、MicorsoftがサポートしているWindows OS
アプリ対応OS	iOS 13以上
	AndroidOS 10以上

※ 本製品及び製品仕様は、品質向上のため予告なく変更または修正されることがあります。

Q. 本体が再起動を繰り返します。

- A.** microSDカードに異常があると再起動を繰り返したり、フリーズする恐れがあります。パソコンでmicroSDカードをフォーマットしてください。フォーマット後も症状が改善しない場合はmicroSDカードの寿命が考えられます。microSDカードの買い替えを検討してください。

※ フォーマットを行う前にはお車に身に覚えのない傷や凹みがないかをご確認ください。傷があった場合はフォーマットせず、専用ビューアーを使用して駐車録画映像をご確認ください。

駐車中にいたずらや当て逃げに遭った可能性があります。

Q. 本体のランプがつかなくなりました。

- A.** 電源を1度OFFにした後、ONしてください。

症状が改善できない場合、microSDカードを抜いた状態でエンジンをONしてください。カード未挿入警告が出ない場合電源配線の異常が考えられます。取付店にご相談ください。カード未挿入警告が出た場合microSDカードの異常が考えられます。パソコンでmicroSDカードをフォーマットしてください。フォーマット後も症状が改善しない場合は、microSDカードの異常が考えられます。販売店もしくはTCLインフォメーションセンターにご相談ください。

Q. パソコンのビューアープログラムが消えてしまいました。

- A.** 下記のダウンロードページよりダウンロードする事ができます。

ダウンロードページ

URL:<https://www.whitehouse.co.jp/smartreco/download/>

ダウンロードパスワード：**smareco**

Q. ビューアーをインストールしましたが、起動しません。

- A.** パソコンの仕様などを確認する必要があります。弊社のホームページに詳しい対処方法が掲載されています。

下記のページをご確認ください。

URL:<https://www.whitehouse.co.jp/smartreco/faq/>

Q. イベントファイルは上書きされませんか？

- A.** イベントファイルも保存できる最大容量が決まっています。その容量を超えると一番古いファイルから上書きされますので、上書きしてはいけないファイルについてはパソコンやスマートフォン等に保存して下さい。

Q. 駐車監視モードが作動しない（エンジン停止時に“駐車監視スイッチをONにしてください”または“駐車モードのSD割当容量が0%に設定されているため、切り替えできません。”）音声案内が出る）

- A.** 設定を確認ください。以下の設定の場合、駐車監視モードは作動しません。

1. 駐車監視モードの設定が「OFF」になっている。
2. 駐車監視モード使用容量が0%になっている。

Q. 駐車監視モードが作動しない

- A.** 以下の2点をご確認ください。

1. バッテリー電圧の低下のため、電源遮断が発生した可能性があります。
Setupフォルダ内のCUTOFF.txtを確認ください。お車のバッテリー電圧も確認してください。
 2. 本体温度が高温になり遮断された可能性があります。
Setupフォルダ内のCUTOFF.txtを確認ください。
- ※ CUTOFF.txtについてはP65・66を参照してください。

Q. トラック・バス等の24V電源の車両でも使用できますか？

A. 24V電源でも使用可能です。駐車監視モードの遮断電圧は、設定値の倍の電圧で作動します。

例：11.9Vで設定した場合、23.8V ($11.9 \times 2 = 23.8$) で遮断されます。

Q. 駐車モードからステーションモード（STAモード）への接続ができません。

A. P51・52のWi-Fi 設定（ステーションモード）項目をまず確認してください。

また、車と家（またはオフィス）の距離が遠すぎてWi-Fi信号が受信できない場合があります。

[製品保証規定]

1. 保証期間は製品を購入した日から2年間です。
2. 取扱説明書に従った正常な使用で故障した場合は、無償で修理または同等品との交換を行います。その際には、本保証書と販売店が発行した購入証明書（レシート等）が必要となります。
3. 次のような場合は保証期間内においても有償修理またはお取扱いできない場合がございます。
 - お客様の取扱い不注意による故障。
 - 本製品を不適切に使用または取扱ったことによる故障。
 - お買い上げ後の輸送や移動時の落下や損傷など。
 - 地震、落雷、風水害、火災、その他の天変地異及び交通事故等による故障及び損傷。
 - 接続している他の機器、及び不適切なカードの使用に起因して本製品に生じた故障及び損傷。
 - 弊社指定のサービス店以外での修理・改造・分解が行われた場合。
 - 消耗品（microSDカードを含む）
 - 本保証書を提示いただけない場合。購入証明書を提示いただけない場合。
 - 修理依頼事項の不具合内容が確認できない場合は基本点検料をご請求させていただきます。
 - 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

【企画・発売元】

株式会社TCL

〒465-0024 愛知県名古屋市名東区本郷3-139

URL:<https://www.kk-tcl.co.jp/>

【TCLインフォメーションセンター】

0561-67-5511

受付時間 10:00～18:00（弊社指定休日を除く）

URL:<https://www.smartreco.jp/>

〒470-0153

愛知県愛知郡東郷町和合北蚊谷29-1

製品保証書

製品名	WHSR-S100			
製造番号				
保証期間	購入日	年	月	日から 2年間
お客様	お名前		連絡先	
	住所			
販売店				